

安心していきいき暮らせる、みんなの六郷

六郷社協だより

編集・発行

六郷地区社会福祉協議会

仙台市若林区沖野

七丁目40番65号

電話(022)286-6889

心の洗濯

六郷地区社会福祉協議会 会長 丹野 慶治



日頃六郷地区社会福祉協議会(六郷社協)には何かとご支援ご協力を頂き誠に有り難うございます。

四月の総会に於いて、引き続き会長という重責を仰せつかりましたことに、気を引き締めて取り組んで参りたいと思っております。

社協はみんなが地域で安心して生き生きと暮らせる福祉づくりと、地域に適した支援活動やサロン等に参加することにより、色々な人達との交流や仲間づくり、心のリフレッシュなどを計画、実行を目的としております。

昨年度はコロナ禍で実行できなかったことを残念に思っており、コロナの一刻も早い収束を願うばかりです。

コロナによって日常生活が変わった事は、逆に新たなチャンスになると考え、今までとは違うことに挑戦するなり、楽しい事に取り組んで頂きたいと願っております。かつてはサンケー(3K)と言われたきつい、汚い、危険も近年は孤独、健康、お金(経済)と言われるように生活の様式も変わってきています。「さーて今日はどこに行くか、友達の所にでも行って、よもやま話でもすっか。スーパーでも行って眺めて来るか〜!」是非外に出て触れあって心の洗濯をしてみても如何でしょうか。

若林警察署六郷交番

昨年の4月1日付けで、皆様の地域を担当する六郷交番の所長として赴任しました柳川と申します。当交番は、主要地方道井土長町線を中心に国道4号から荒浜までの広い範囲を管轄しており、日夜、当地域の治安維持のための活動をしております。

当地域は、東日本大震災後、著しく復興・発展をし、様々な方が暮らしておりますが、高齢者等への見回り活動や子ども達を見守る活動など、住民同士が手を取り合い、協力することによって、地域の安全・安心な環境が保たれていることを強く感じております。

私としても、地域に根ざし、皆様から頼られる交番でありたいと思っておりますので今後とも、色々とお声掛けいただくなど、御協力をお願いします。



3.11追悼慰霊

東日本大震災から11年目の3月11日、今年は新型コロナ感染拡大防止の為、六郷地区連合町内会としては、同時刻に集合せず、終日都合の良い時間帯に参拝していただくという取り決めになった様ですが、午後2時半、東六郷コミュニティー広場慰霊塔前には多くの方が集まり、また多くの花が手向けられ、焼香致しました。

地震の起きた2時46分には全員で黙祷、終日絶え間ない慰霊の方々がおりました。

3月16日には11年前を思い起こさせる様な、最大震度6強という強い地震があり、津波警報も発令され、避難した方も多くいたようです。

改めて防災意識を強く感じた事でした。



コロナ禍の サロン活動

上飯田大町町内会 菅原 玲子

上飯田大町町内会高齢者サロン「いきいきサロン」は、平成26年に始まって以来ボランティアの皆さんによる演芸や講話・茶話会を主とし「折り紙サロン」も開催して来ましたが、

しかしながら、新型コロナウイルス感染症は生活に大きく影響を与えました。本当に外出自粛を招き、他者とのコミュニケーションさえもなくすものとなっていきました。体力の衰え・筋肉低下は、フレイルを招き認知症の進行と様々なことが指摘されていきました。

感染者の増加によってサロン中止もありましたが、茶話会を取り止め、六郷包括支援センターの協力、仙台市「健康づくり応援事業」に応募して専門員の派遣、杜のおとく体操の習得など運動に特化して再開に繋げています。



福祉委員研修会中止について

3月9日に予定していました、令和3年度の福祉委員研修会は、コロナ感染拡大が止まらず、中止となりました。

今回予定していた研修会内容は、次の機会に行う事といたしました。

また、昨年からお願ひしておりました「福祉委員の見守り活動記録」について、この一年間で皆様からのご意見等も頂き、改善点などが見受けられましたので、令和4年度より様式を変える事とし、その説明なども行う予定でした。しかし時間もない事から、様式の変更については文書で行い、詳しくは後日説明する機会を設けたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

この交流会は、赤い羽根共同募金助成事業として、2回にわたり計画致しました。1回目の2月9日はコロナ感染拡大の為中止を余儀なくされましたが、3月24日は何とか実施にこぎつけました。

当日は六郷市民センター体育館で、35名の参加者と、バレトンインストラクターの満園依李氏を講師に迎え、バレトンという、バレエ・ヨガ・フィットネスを組み合わせた有酸素系の運動を行いました。

先生の楽しいお話を交えながら、音楽にあわせ、簡単な動きながら、じわーっと汗が出るくらい体を動かしました。約50分間、久しぶりに動かした体には良く効いたようで、後日筋肉痛という方もいたようです。また、参加者から「楽しかった」との声が多く寄せられ好評でした。

これからのコロナ禍の情勢には目を離せませんが、一日も早く普通の生活ができるようになる事を願ってやみません。

三ツ橋町内会

宇和野 悦子

新型コロナウイルス感染症の発生でサロン活動も一変しました。緊急事態宣言やまん延防止対策とか、今まで聞いたことのない言葉が飛び交い、マスクの着用・手洗い・手指の消毒、換気や機密を避けてと、部屋の中での行動も制限されました。



いつ終わるかわからないコロナ禍の中でこのままでいたら、今までの日常生活が失われ、皆との交流もできずますます孤立し、閉じこもりの生活が続くこととなります。それよりも細心の注意を払い感染対策をしたうえで、たとえ一時間でも気心の知れた仲間と語り合い・笑い合い・助け合って過ごす時間がいかに大切な事かと思いました。

そこで、密を避けるために、外に出るの活動に重点を置き、好日庵の空き地に草花や季節の野菜を植えて、収穫を楽しみました。また、郊外に出るウォーキングや、町内のごみ拾い、そして地域包括支援センターの協力を頂き、感染症対策を万全にして体操なども行いました。

このような工夫で、同じ目的を共有し一体感も生まれ、コロナ禍でのサロン活動も乗り越えることができるかと思っています。早くいつもの日常が戻り、思い切り活動できる日が待ち遠しいです。

ただ自分達も高齢になり、サロン活動も無理せず、できる範囲であまり広げすぎないようにしていくつもりです。

そして福祉部の人達やサロン活動に参加してくれる人達の協力があってこそ、長く続く事に繋がるかと思っています。

コロナを吹き飛ばせ!

健康アップ交流会



六郷地区町内会会長

《敬称略》

町内会	会長名	町内会	会長名	町内会	会長名
沖野	やよい 高橋 信一	沖野 上飯田第一 茂木 勝	六郷	今 泉 石黒 康二	六郷
	沢 田 山田 一雄	沖野公団 佐々木 康雄		二 木 相 沢 和 紀	
	中河原 菊地 徳吉	上飯田西 中 嶋 賢 三		三本塚 小 野 吉 信	
	中 柵 庄子 克典	上飯田中央 早坂 憲也		種 次 大友 重義	
	三ッ橋 宇和野 禎寿	上飯田南 太田 善雄		井 土 庄子 喜代志	
	横堀東 結城 正芳	上飯田大町 佐々木 好悦		久保田東 東海林 義一	
	横堀西 本田 昭夫	下飯田 鈴木 壽雄		六郷自治会 白井 由美子	
	館 染谷 恵司	日 辺 針 生 納			

六郷地区民生委員児童委員

受持町内会	氏 名	受持町内会	氏 名	受持町内会	氏 名
沖野	やよい 高橋 きぬ子	沖野	館 染谷 恵司	六郷	日 辺 西 條 義男
	沢 田 三塚 妙子		館 中谷 和男		今 泉 遠藤 はつ子
	沢 田 末永 久美子		上飯田第一 渡邊 美智子		今 泉 立花 正祐
	中河原 武藤 智子		上飯田第一 青沼 淳子		今 泉 馬目 敦子
	中 柵 文屋 俊英		上飯田西 勝又 猛良		今 泉 岡田 佐千子
	中 柵 庄子 克典		上飯田中央 高橋 洋子		三木・井土・三本塚・今泉 庄子 フミ子
	三ッ橋 尾形 あさ子		上飯田南 本多 やゑ子		種 次 阿部 あや子
	横堀東・西 濱田 美和子		上飯田南 佐藤 誠		久保田東・今泉 松崎 幸子
野	横堀西 齋藤 宏子	六郷	上飯田大町 菅原 玲子	六郷	主任児童委員 鈴木 三枝
	館 湯目 實		下飯田 遠藤 千枝子		

六郷地区社会福祉協議会福祉委員

町内会	氏 名	町内会	氏 名	町内会	氏 名	町内会	氏 名
沖野	やよい 高橋 清子	沖野	三ッ橋 木皿 ふさ子	六郷	上飯田西 中嶋 賢三	六郷	上飯田大町 宮内 フミ子
	沢 田 庄子 好江		横堀西 庄司 やよえ		阿部 正和		高橋 秋男
	中河原 丹野 純子		館 平岡 やえ子		安斉 正幸		篠原 宣子
	中 柵 松平 育子		遠藤 光江		清水 美智子		太田 美恵子
	中河原 細畑 敬子		渡辺 清子		小林 洋之		目黒 裕宗
	中河原 中野 京子		佐々木 きよ子		大倉 淳子		伊東 美代子
	中河原 高橋 とも子		齋藤 るり子		三浦 量太		船山 かつ子
	中河原 木皿 妙子		安部 せい		高橋 幸喜		日 辺 平塚 邦子
野	中河原 及川 輝雄	野	館 丹野 ナミヒ	六郷	高橋 浩	六郷	佐藤 春子
	中河原 齋藤 清志		丹野 和恵		相澤 典子		山田 ともえ
	中河原 佐藤 周子		安藤 ひろみ		相澤 直美		鶴沼 まさみ
	中河原 文屋 恵子		會澤 恵子		佐藤 佐智子		菅野 せつ子
	中河原 秋葉 すみ子		水戸 敏夫		永久保 優子		鹿野 良子
	中河原 加藤 啓子		鈴木 仁子		菅野 文子		相澤 せつ子
	中河原 我妻 晶子		菅井 かよ子		川口 忠義		大内 良子
	中河原 佐藤 萬里子		清水 龍子		太田 善雄		三本塚 白河 末子
	中河原 丹野 多美子	六郷	太田 平雄	六郷	高橋 今朝見	六郷	種次 阿部 幸政
	中河原 宇和野 悦子		佐々木 一洋		高橋 光朗		久保田東 橋 レイ子
野	三ッ橋 大泉 きみ子	六郷	佐藤 守	六郷	穴戸 照郎	六郷	齋 かつ子
	三ッ橋 林 ヒサ子		川嶋 順子		五百川 喜久子		

令和4年度 六郷地区社会福祉協議会役員

会 長 丹野 慶治	庶 務 尾形 あさ子
副会長 石黒 康二	会 計 菅原 玲子
副会長 庄子 フミ子	推進委員 三塚 妙子

ようこそ
お願いします。

社協だより 編集委員

・丹野 慶治	・湯目 實
・庄子 フミ子	・高橋 洋子
・三塚 妙子	

コロナ禍での活動状況

ひまわり会

令和元年12月に初めての感染者が報告されてから、わずか数ヶ月で世界的な流行となった新型コロナウイルス。ひまわり会活動も自粛せざるを得なくなりました。手作り弁当をお届けしながら高齢者を訪問し、安否確認・見守り活動が難しくなった令和2年・3年。感染対策をしっかりと行いながら、お弁当の代わりにヤクルトを届ける活動を続けています。また、仙台市社協若林区事務所が実施した「マスクの下は笑顔プロジェクト」のニュースレターとお返事ハガキもお持ちしました。返信いただいた「高齢者の声」を紹介します。

●いつもひまわり会の方々にお世話になっています。デイサービスに週に1度だけ行きます。それが今の自分の楽しみです。(80代)

●視力が落ち、足もとぼとぼ。こんなものかと思っていますが、困ります。(90代)

●同年代の友人が3人くらい居ます。昔話や体の調子、失敗したこと等、たわいのないことを常に交わしています。(90代)

令和3年には、同じく仙台市社協若林区事務所から取材を受け、「地域の見守り活動と絆の物語」と題し、動画を作成していただきました。

YouTubeで「**せんだい社協チャンネル**」を検索してみてください。

<https://www.youtube.com/watch?v=CqA6C7JFdZg>

一日も早く皆様の笑顔が戻り、いつもの活動が出来ますように願ってやみません。



ひまわり会代表 丹野慶治

副代表 高橋洋子

六郷地区社会福祉協議会 会計から

六郷地区の各町内会を通して、令和3年度社協会費は

総額1,897,100円

となりました。

全額を仙台市社協に納入いたしました。その中から当社協に還元され、福祉のまちづくりを推進するための貴重な財源となっております。

ご協力ありがとうございます。



「東六郷・東部 かあちゃんず」

東日本大震災後、若林区沿岸部の津波被災地の女性達は、震災で抱えた悩み、家庭で抱える葛藤などありました。その心の葛藤を話し合う場が設けられ、震災から少しずつ立ち直っていきました。その様な事から女性ならではの視点で、自分達の地域を元気にする取り組みをしようと2016年4月「東六郷・東部かあちゃんず」が発足しました。

毎月定例会を実施、話題を共有し、さつま芋を植え、販売につなげたり、地域のイベントに協力したり活動してまいりました。今年は六郷地区健康づくり推進事業の一環で「仙台白菜を使ったレシピ」開発に取り組み、若林区長とのコラボで動画(YouTube)を作成致しました。現在10人のメンバーで3月には、悪戦苦闘しながら味噌造りにも挑戦、秋の出来上がりが楽しみです。

宮城学院女子大生とのコラボで防災レシピカレンダー作りも取り組み中です。区家庭健康課とのコラボで夏野菜を使ったレシピも作成中です。今後も多方面にわたり活動していく事と思います。

<https://www.youtube.com/watch?v=pGjZu0DIY3c>



編集後記

今年度も新型コロナウイルスの影響で、多くの行事が中止になりましたが、少しずつ「サロン」等も感染防止に注意しながら、再開されつつあります。

皆様も、日常を取り戻すために、少しずつ活動をしてみてはいかがでしょうか。

つながる ひろがる

支え合う地域づくり

社協会員加入のお願い

特別賛助会員1,000円以上

六郷地区社会福祉協議会

連絡先

丹野まで

地元の
社会福祉の協力金
として加入をお願い
いたします。